

2021年12月期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
③ キャッシュ・フローの状況	P.1
④ 設備投資の状況	P.1
⑤ 非資金項目	P.1
II 2021年12月期 実績	P.2
① 損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 研究開発の状況	P.5
III 2022年12月期 業績予想	P.6
① 損益計算書	P.6
② 製商品別売上高	P.8

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てて表示しております。

※ 本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

2022年2月10日



鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

① 経営成績

※1 2022年12月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用するため、2022年12月期予想は当該変更を織り込んだ数値となっております。

※2 2021年12月期実績には当該会計基準を遡及適用していないため、増減につきましては参考値です。

(単位:百万円)	2020年12月期		2021年12月期		増減	増減率 (%) (B-A)/A	2022年12月期 予想※1	増減	増減率 (%) (C-B)/B
	A	B	B-A	C					
売上高	41,700	46,987	5,287	12.7	48,200	1,212	※2	2.6	※2
営業利益	4,738	4,656	△81	△1.7	5,200	543		11.7	
経常利益	4,971	4,847	△124	△2.5	5,400	552		11.4	
当期純利益	3,495	3,374	△120	△3.5	3,800	425		12.6	
(参考)									
研究開発費	596	832	235	39.6	1,580	747		89.8	
1株当たり当期純利益(EPS) (円)	124.47	120.13	△4.34		135.27	15.14			
自己資本当期純利益率(ROE) (%)	3.1	2.9	△0.2						
総資産経常利益率 (%)	3.7	3.8	0.1						
売上高営業利益率 (%)	11.4	9.9	△1.5						
総資産当期純利益率(ROA) (%)	2.6	2.6	0.0						

② 財政状態

(単位:百万円)	2020年12月期		2021年12月期		増減	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B	B-A	(B-A)/A		
総資産	126,026	130,810	4,784	3.8		
純資産	115,091	117,015	1,924	1.7		
自己資本比率 (%)	91.3	89.5	△1.8			
1株当たり純資産(BPS) (円)	4,097.55	4,165.38	67.83			

③ キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)	2020年12月期		2021年12月期		増減額
	A	B	B-A	(B-A)/A	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,443	△156	3,287		
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,625	△1,498	△9,124		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,425	△1,546	△120		
現金及び現金同等物の期末残高	61,576	58,374	△3,201		

④ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2020年12月期		2021年12月期		増減額	増減率 (%) (B-A)/A	2022年12月期 予想	増減額	増減率 (%) (C-B)/B
	A	B	B-A	(B-A)/A					
設備投資額	392	822	430	109.7	850	27	3.4		
有形固定資産	277	597	320	115.6	480	△117	△19.7		
無形固定資産	114	224	109	95.5	370	145	64.6		

⑤ 非資金項目

(単位:百万円)	2020年12月期		2021年12月期		増減額	増減率 (%) (B-A)/A	2022年12月期 予想	増減額	増減率 (%) (C-B)/B
	A	B	B-A	(B-A)/A					
減価償却費	582	413	△169	△29.0	470	56	13.8		
長期前払費用償却費	496	722	226	45.5	770	47	6.6		

Ⅱ 2021年12月期 実績

① 損益計算書

(単位:百万円)	2020年12月期	2021年12月期	増減額 B-A	増減率
	A	B		(%) (B-A)/A
売上高	41,700	46,987	5,287	12.7
製商品売上高	41,053	46,290	5,237	12.8
腎・透析領域	14,773	13,502	△1,270	△8.6
皮膚疾患領域	9,918	11,992	2,073	20.9
アレルギー領域	11,332	15,971	4,638	40.9
その他	5,029	4,824	△204	△4.1
その他の売上高	647	697	50	7.8
売上原価	19,962	22,649	2,687	13.5
製商品売上原価	19,898	22,591	2,693	13.5
その他の原価	63	57	△6	△9.5
売上総利益	21,737	24,338	2,600	12.0
販売費及び一般管理費	16,999	19,682	2,682	15.8
販管費(研究開発費除く)	16,403	18,849	2,446	14.9
研究開発費	596	832	235	39.6
営業利益	4,738	4,656	△81	△1.7
営業外損益	233	191	△42	
経常利益	4,971	4,847	△124	△2.5
特別損益	△746	△79	666	
税引前当期純利益	4,225	4,767	542	12.8
法人税等	729	1,392	662	
当期純利益	3,495	3,374	△120	△3.5

(参考) 売上高に対する比率

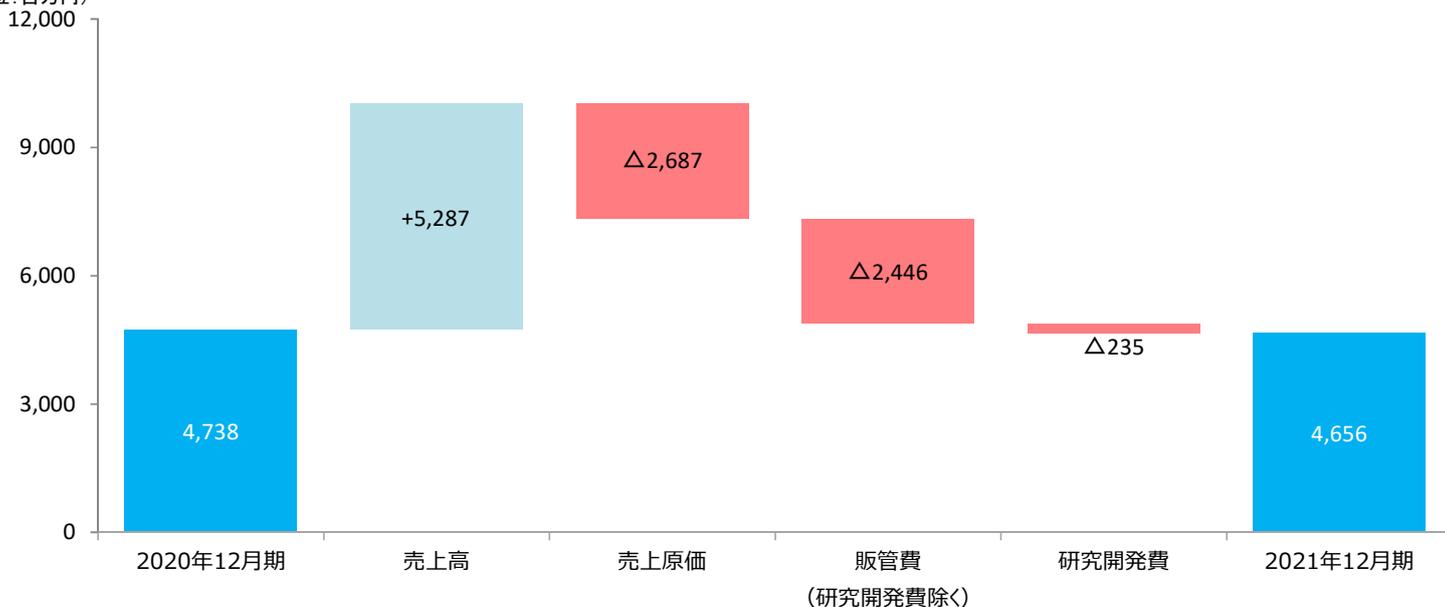
(単位:%)	2020年12月期	2021年12月期	増減 B-A
	A	B	
売上原価	47.9	48.2	0.3
販売費及び一般管理費	40.7	41.9	1.2
研究開発費	1.4	1.8	0.4
営業利益	11.4	9.9	△1.5
経常利益	11.9	10.3	△1.6
当期純利益	8.4	7.2	△1.2

【対前期増減要因】

営業利益（4,656百万円 対前期△81百万円）

✓ コレクチム及びアレルゲン領域の売上増加も、新製品に係る費用投入により増収減益

（単位：百万円）



主な増減要因（億円未満切捨て）

売上高	腎・透析領域	： 減収△12億円	レミッチ△13億円（薬価改定及び後発品の影響）
	皮膚疾患領域	： 増収+20億円	コレクチム+27億円（2020年6月販売開始）
			アンテベート△4億円（薬価改定の影響）
	アレルゲン領域	： 増収+46億円	ミティキュア+26億円、シダキュア+21億円（販売数量の増）
	その他	： 減収△2億円	（前期）受託製造売上
			オラデオ+3億円（2021年4月販売開始）
売上原価		： 売上高の増加	
販管費（研究開発費除く）		： 売上連動経費の増加	
			新製品の発売等に伴う販売費用の増加
			パソコン更新等の一過性費用の発生
研究開発費		： 組織変更（臨床試験体制の整備）に伴う費用の増加	

経常利益（4,847百万円 対前期△124百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（3,374百万円 対前期△120百万円）

前期 事業構造改革費用（佐倉工場譲渡損失等） 736百万円

法人税等（法人税等の負担率：前期17.3% 当期29.2%） +662百万円

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2020年12月期	2021年12月期	増減額	増減率
	A	B	B-A	(B-A)/A
製商品売上高	41,053	46,290	5,237	12.8
[腎・透析領域]				
リオナ錠	6,507	6,863	355	5.5
高リン血症治療剤、鉄欠乏性貧血治療剤				
レミッチ	6,365	5,058	△1,306	△20.5
経口そう痒症改善剤				
ケイキサレート ※	1,717	1,525	△192	△11.2
高カリウム血症改善剤				
その他	182	55	△127	△69.9
計	14,773	13,502	△1,270	△8.6
[皮膚疾患領域]				
アンテベート ※	5,241	4,825	△415	△7.9
外用副腎皮質ホルモン剤				
コレクナム軟膏	1,291	4,025	2,733	211.7
外用ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤				
ロコイド ※	1,674	1,698	24	1.5
外用副腎皮質ホルモン剤				
ゼフナート	1,241	1,043	△198	△16.0
抗真菌薬				
その他	469	398	△70	△15.0
計	9,918	11,992	2,073	20.9
[アレルギー領域]				
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※	6,139	8,325	2,186	35.6
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※	4,776	7,386	2,610	54.6
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬				
その他	416	258	△158	△38.0
計	11,332	15,971	4,638	40.9
[その他]				
ビオスリー	2,969	3,213	244	8.2
活性生菌製剤(整腸剤)				
その他	2,059	1,610	△448	△21.8
計	5,029	4,824	△204	△4.1

※ 自社品

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2020年12月期	2021年12月期	増減	増減率
	A	B	B-A	(B-A)/A
自社品売上高	21,539	24,843	3,303	15.3
自社品比率 (%)	52.5	53.7	1.2	-

③ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階（国内）					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
皮膚疾患領域								
JTE-052 「コレクテム®軟膏」	乳幼児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本国内における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
JTE-061	アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)がDermavant Sciences GmbHと日本国内における皮膚疾患領域での独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本国内における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
	尋常性乾癬	外用剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)がDermavant Sciences GmbHと日本国内における皮膚疾患領域での独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本国内における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
	小児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase II			<ul style="list-style-type: none"> ・日本たばこ産業(株)がDermavant Sciences GmbHと日本国内における皮膚疾患領域での独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本国内における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
アレルギー領域								
TO-203 「ミテイクア® ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II / III終了※			<ul style="list-style-type: none"> ・ALK-Abelló A/Sと日本国内における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中

前回公表時（2021年10月29日）からの変更点

・皮膚疾患領域 JTE-061（一般名：tapinarof 予定適応症：小児アトピー性皮膚炎）の追加

上記のほか、以下の契約を締結しております。

・2021年3月 Verrica Pharmaceuticals Inc.との間で、同社が有する皮膚疾患治療薬VP-102について、日本国内における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約

当社の親会社である日本たばこ産業(株)（うち医薬事業部門）とは、医薬品に関する製品及びサービスにおいて、各々の強みを生かし、当社は主に製造と販売の機能を担っており、親会社は研究開発の機能を担っております。なお、親会社の研究開発の状況は、日本たばこ産業(株)ウェブサイト上の「医療用医薬品臨床開発状況」をご参照ください。

<https://www.jti.co.jp/investors/library/business/briefing/index.html>

Ⅲ 2022年12月期 業績予想

① 損益計算書

※1 2022年12月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用するため、2022年12月期予想は当該変更を織り込んだ数値となっております。

※2 2021年12月期実績には当該会計基準を遡及適用していないため、増減につきましては参考値です。

(単位:百万円)	2021年12月期	2022年12月期	増減額	増減率 (%)
	実績 A	予想※1 B		
売上高	46,987	48,200	1,212 ※2	2.6 ※2
製商品売上高	46,290	47,830	1,539 ※2	3.3 ※2
腎・透析領域	13,502	11,790	△1,712 ※2	△12.7 ※2
皮膚疾患領域	11,992	12,090	97 ※2	0.8 ※2
アレルギー領域	15,971	18,950	2,978 ※2	18.7 ※2
その他	4,824	5,000	175 ※2	3.6 ※2
その他の売上高	697	370	△327 ※2	△47.0 ※2
売上原価	22,649	24,900	2,250 ※2	9.9 ※2
売上総利益	24,338	23,300	△1,038 ※2	△4.3 ※2
販売費及び一般管理費	19,682	18,100	△1,582 ※2	△8.0 ※2
販管費(研究開発費除く)	18,849	16,520	△2,329 ※2	△12.4 ※2
研究開発費	832	1,580	747	89.8
営業利益	4,656	5,200	543	11.7
経常利益	4,847	5,400	552	11.4
当期純利益	3,374	3,800	425	12.6

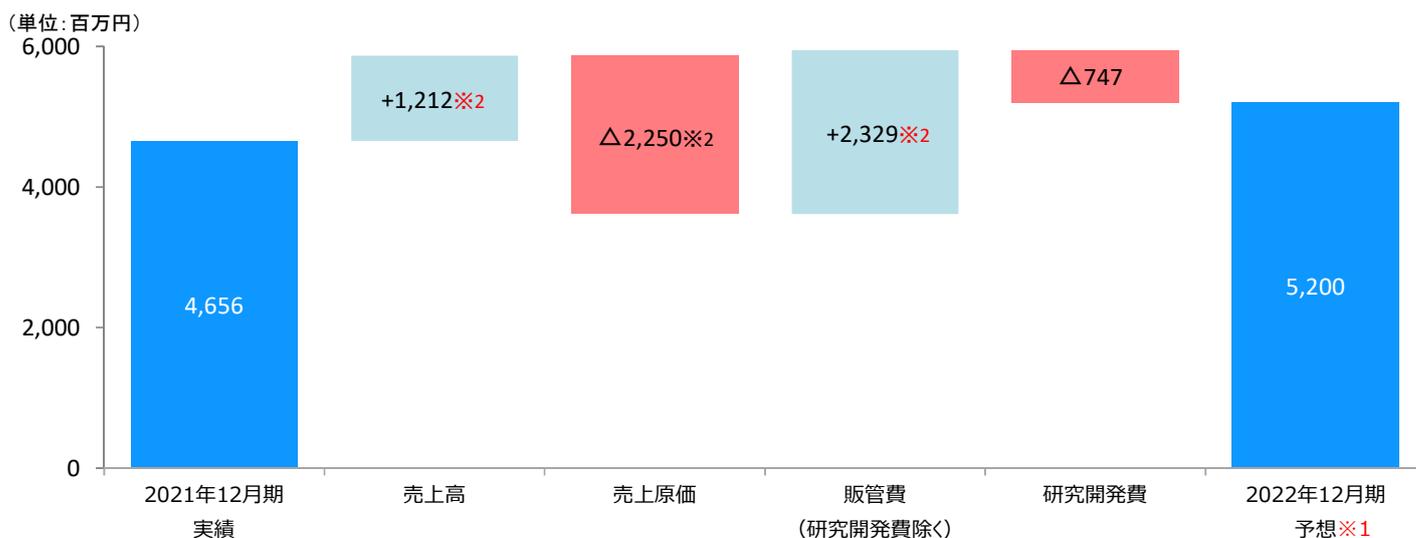
(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2021年12月期	2022年12月期	増減
	実績 A	予想※1 B	
売上原価	48.2	51.7	3.5 ※2
販売費及び一般管理費	41.9	37.5	△4.4 ※2
研究開発費	1.8	3.3	1.5
営業利益	9.9	10.8	0.9
経常利益	10.3	11.2	0.9
当期純利益	7.2	7.9	0.7

【対前期実績増減要因】

営業利益 (5,200百万円 対前期実績+543百万円)

✓ アレルゲン領域及びコレクチムの売上増加により増収増益の見込



※1 2022年12月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用するため、2022年12月期予想は当該変更を織り込んだ数値となっております。

※2 2021年12月期実績には当該会計基準を遡及適用していないため、対前期増減額につきましては参考値です。

主な増減要因

売上高	: 販売数量の増加 (シダキュア、ミティキュア、コレクチム、リオナ) 収益認識基準適用による減少 薬価改定による減少
売上原価	: 販売数量の増加、収益認識基準適用による増加
販管費 (研究開発費除く)	: 収益認識基準適用による減少 (前期) パソコン更新等の一過性費用の発生 ロイヤリティの増加
研究開発費	: 臨床試験費用 (VP-102) の増加

経常利益 (5,400百万円 対前期実績+552百万円)

特記事項：特になし

当期純利益 (3,800百万円 対前期実績+425百万円)

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

※1 2022年12月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用するため、2022年12月期予想は当該変更を織り込んだ数値となっております。比較対象となる2021年12月期実績の収益認識基準が異なることから、製商品別の増減は記載しておりません。

※2 2021年12月期実績には当該会計基準を遡及適用していないため、増減につきましては参考値です。

(単位:百万円)	2021年12月期	2022年12月期	増減額	増減率(%)
	実績 A	予想※1 B	※1 B-A	※1 (B-A)/A
製商品売上高	46,290	47,830	1,539 ※2	3.3 ※2
[腎・透析領域]				
リオナ錠	6,863	7,150	-	-
高リン血症治療剤、鉄欠乏性貧血治療剤				
レミッチ	5,058	3,170	-	-
経口そう痒症改善剤				
ケイキサレート ※3	1,525	1,240	-	-
高カルウム血症改善剤				
その他	55	230	-	-
計	13,502	11,790	△1,712 ※2	△12.7 ※2
[皮膚疾患領域]				
コレクチム軟膏	4,025	5,010	-	-
外用ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤				
アンテベート ※3	4,825	4,070	-	-
外用副腎皮質ホルモン剤				
ロコイド ※3	1,698	1,560	-	-
外用副腎皮質ホルモン剤				
ゼフナート	1,043	1,100	-	-
抗真菌薬				
その他	398	350	-	-
計	11,992	12,090	97 ※2	0.8 ※2
[アレルギー領域]				
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※3	8,325	9,990	-	-
スギ花粉症のアレルギー免疫療法薬				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※3	7,386	8,720	-	-
ダニアレルギーのアレルギー免疫療法薬				
その他	258	240	-	-
計	15,971	18,950	2,978 ※2	18.7 ※2
[その他]				
ビオスリー	3,213	3,220	-	-
活性生菌製剤(整腸剤)				
その他	1,610	1,780	-	-
計	4,824	5,000	175 ※2	3.6 ※2

※3 自社品

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2021年12月期	2022年12月期	増減	増減率(%)
	実績 A	予想※1 B	※1 B-A	※1 (B-A)/A
自社品売上高	24,843	26,530	-	-
自社品比率 (%)	53.7	55.5	-	-